



—日本の歯科医療サービスの海外展開を推進する—

歯科医療機器のレギュラトリーサイエンスと 国際規格：アジアへの貢献

平成26年3月15日(土) 午後1時～5時

会場：東京ビッグサイトTFT(東京ファッションタウンビル)東館 研修室909号室

主催：一般社団法人アジアデンタルフォーラム

後援：厚生労働省、経済産業省、一般社団法人Medical Excellence JAPAN

アジアは急激な近代化の一方で、ここに住む数10億の人々は福祉・医療の充実を熱望している。歯科医療サービスの整備を支援すること、これが我々の責務である。これには新たな発想で高品質な歯科医療機器を研究開発し、国際規格の整合化に積極的に関与し、今後の国際戦略やわが国が主導するアジアの医療サービスの向上に寄与することが必須である。

そこで、本シンポジウムでは企業のアジア進出に際して問題となる歯科医療機器の認証を取り上げ、その背景となるレギュラトリーサイエンスを学びながら、新たな医療機器の開発、機器の規格とその作成過程・運用、わが国とアジア諸国における機器の認証についての理解を深めることを目的とした。

【プログラム】

■挨拶「日本の歯科医療サービスの海外展開を推進する」

江藤 一洋 (ADF理事長・東京医科歯科大学名誉教授)

■基調講演「レギュラトリーサイエンスとPMDAの今後の展開」

近藤 達也 氏 (独立行政法人 医薬品医療機器総合機構理事長)

■講演

1. 「歯科医療機器の開発と国際規格」

小田 豊 氏 (ISO/TC106Dentistry日本議長・東京歯科大学教授)

2. 「歯科認証基準の策定と運用」

井出 勝久 氏 (独立行政法人 医薬品医療機器総合機構規格基準部)

3. 「アジアにおける医療機器規制：東南アジアを中心に」

渡辺 英憲 氏 (株式会社吉田製作所法務本部法務部薬事室海外薬事担当)

■パネルディスカッション

「歯科医療機器のレギュラトリーサイエンスと国際規格：アジアへの貢献」

司会 岡野 友宏 (ADF専務理事、昭和大学名誉教授)

参加者：歯科医療機器産業関係者・歯科医学研究者・歯科医療関係者 定員：150名

シンポジウム参加費：1万円 懇親会費：5千円<シンポジウム終了後に懇親会を開催致します。>